

10

うんえい 病院運営を サポートする びょういんじむいん 病院事務員

おしえて！病院事務員のおしごと

病院事務員は、病院運営がスムーズにいくよう全面的にサポートする一方で病院や医療界全体を見渡し情報収集や分析・提案を行うなど病院運営をリードする仕事でもあります。

具体的には職員の採用・給与に関わる部署、施設基準※などの申請を行う部署、病院で使う医療機器や備品の購入・管理に関わる部署、資金管理を行う部署、パソコンやネットワークの導入・管理を行う部署などがあります。

他の会社と大きく違うのは、外来や入退院の受付をしたり、医療費を計算し月に一度、レセプト（診療報酬明細書）と呼ばれる請求書を作成して、保険者（健康保険組合、国民健康保険など）に患者さんの医療費を請求する部署があります。また、診療録（カルテ）の整理・管理・監査、診療情報開示に関する仕事も病院の特徴的な仕事としてあげられます。

医師の業務負担を軽減するために、医師に代わって事務作業を行う医師事務作業補助者という職種は、診断書や処方せんの作成、カルテの入力などを医師の指示のもと行います。厚生労働省がすすめる「医師の働き方改革」を考える上で、医師事務作業補助者は欠かせない存在になっています。

※ 施設基準

医療法で定める医療機関および医師等の基準の他に、健康保険法等の規定にもとづき厚生労働大臣が定めた、保険診療の一部について医療機関の機能や設備、診療体制、安全面等を評価するための基準になるものです。



どうすれば病院事務員になれるの？

レセプト（診療報酬明細書）と呼ばれる書類をつくる「医療事務」に関する民間資格・試験は多くあるので、医療事務の専門学校に通うのも病院事務員を目指す一つの方法です。しかし病院を支える事務のお仕事は医療事務に限らずさまざまな仕事があるため、専門資格を取らなくても病院事務員になることができます。将来的に一人前に仕事をこなしていくには、医療に関する法律や治療方法、病院経営などについて勉強することが求められます。



豆知識

患者さんが保険証を提示して、医師から受ける医療行為に対して保険制度から支払われる料金のことを「診療報酬」と言います。診療報酬＝医師の収入ではありません。この診療報酬は厚生労働大臣によって決められており、患者さんに対して行われた治療費はこの診療報酬にもとづいて計算されます。支払う医療費が高額になった際には、高額医療費制度というしくみがあります。月単位で一定額を超えた場合に、超えた金額が医療保険から支給されます。